

令和 7 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市西部コミュニティセンター及び交楽園	所管課	男女共生・生涯学習推進課
所在地	岐阜市下鵜飼一丁目105番地		
指定管理者名	岐阜市西部コミュニティセンター運営委員会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	18,497,249円(令和7年度)		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること		
施設概要	敷地面積 4,177.66㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 2,239.77㎡ 防災会議室、集会室、教養娯楽室、生活相談室、大集会室、小会議室、料理教室、チビッ子室、駐車場 岐阜市西部図書室(併設施設)、岐阜市西部ふれあい保健センター(併設施設)		

●利用状況

		R07 上半期	R06 下半期	R06 上半期	R05 下半期	R05 上半期
利用者数(単位:人)		22,216	24,243	15,061	15,158	23,174
各室稼働状況(%)	防災会議室	93.6	94.0	93.0	94.7	91.7
	集会室	86.6	84.1	89.1	88.2	90.5
	教養娯楽室	24.2	36.4	28.9	21.7	22.9
	生活相談室	47.8	45.7	43.0	42.1	43.3
	大集会室	71.3	80.8	75.6	74.3	69.4
	小会議室	49.0	57.6	55.8	57.9	56.1
	料理教室	21.0	17.9	16.7	21.7	22.9

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用を行っている。 ②適切な運用を行っている。 ③コミセンだより及びサークル一覧表を発行し、構成地域の地域住民を対象に回覧し、センターの活動状況などを紹介している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の要望などを聞きとり、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施(上半期) ①シニアの男性料理教室(6月) ②消防訓練(7月) ③親子ふれあい教室(8月)	①6月12日実施 20名参加 ②7月4日に実施 ③8月24日実施 「ウッドバーニングでミニ額を作ろう」を開催し、7組15名の親子が参加する。

施設管理	日常点検 ①消防設備点検(自主点検) ②不審者、危険物(自主点検) 法定点検 ①昇降機保守点検(年1回) 定期点検 ①昇降機保守点検(年4回) ②し尿浄化槽保守(年52回)	日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし 法定点検 ①下半期に実施 定期点検 ①6/19、9/3に実施 ②毎週金曜日に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミュニティセンター条例第7条の規定に基づき遵守している。 ②マニュアルを整備するとともに、年2回防災訓練を実施している。 ③関係法令を遵守し、管理・運営に努めている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	令和7年8月1日～8月31日実施(回答数:76件)
利用者アンケートの実施結果	設問① 年代 10歳未満 0%、10代 0%、20代 3.9%、30代 1.3%、40代 2.6%、50代 10.5%、60代 19.7%、70代 51.3%、80代以上 10.5% 設問② 利用した部屋 防災会議室 30.8%、集会室 26.4%、教養娯楽室 2.2%、生活相談室 6.6%、大集会室 8.8%、小会議室 9.9%、料理教室 6.6%、併設施設 6.6% その他2.1% 設問③ スタッフの対応について 満足 52.6%、やや満足 26.3%、ふつう 21.1%、やや不満 0.0%、不満 0.0% 設問④ 施設・設備について 満足 47.4%、やや満足 30.3%、ふつう 19.7%、やや不満 2.6%、不満 0.0% 設問⑤ 全体的な満足度 満足 48.7%、やや満足 32.9%、ふつう 18.4%、やや不満 0.0%、不満 0.0%
利用者からの要望・苦情と対応・改善	(スタッフの対応) ・質問に対してあいまいな答えしかなかった →質問に即答できない場合は後日回答するようにします。 (施設や設備について) ・エアコンがきかない、エアコンの向きが細かく操作できない、冷暖房が弱い →エアコンが老朽化しており、ご迷惑をおかけしています。 ・囲碁の台の足が少し具合が悪い →足が悪くなっていることに気が付きませんでした。すぐに入れ換えます。 ・車が置けないことがある →台数が多い時には隣の民有地を借りるなどしていますが、駐車台数には限りがあるのでご理解ください。 ・大集会室の音楽の音が大きい →ドアを締め切るなどしていますが、防音設備が十分ではないのでご迷惑をおかけしています。 ・北側駐車場の東方に雨で水たまりができる →北側駐車場は水はけが悪く、何度も補修していますが水たまりを完全になくすことは難しいのが現状です。 ・トイレに荷物をかけるところがあるとよい →トイレは狭いのでスペース的に難しいと思います。 ・シャワートイレがあるとよい →1・2階の女子トイレ、1階男子トイレに1箇所ずつ設置してあります。 ・道具置場入口のストッパーが不具合 →入口の扉は図書室の通用口となっており、常時解放するものではないのでご理解ください。 (その他) ・祝日で休みが月→火に変わるの是不便、休みは固定してほしい →市の施設の基本的な運用方針なのでご理解をお願いします。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	岐阜市西部コミュニティセンターの運営上の基本方針、平等利用を確保するための体制	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供されているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備等の整備など）	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理に関する経費の設定額の妥当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きく離れていないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造、スタッフの配置	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方針	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一体となって、地域を巻き込んだイベント、社会活動の開催など	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織であり、地域に密着した運営が行われているか	A	A	A
		地元の住民の雇用及び貢献に関すること	・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員として採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組みに対する評価	・6月のシニア料理教室には20名の申し込みがあり満席となった。 ・親子ふれあい教室は例年7月下旬に開催していたが、夏休み当初は行事が多いのではないかと考え今回は時期をずらして8月下旬の開催とした。 ・電気代や重油代が高止まりしており、使用しない場所の消灯や適切な温度管理など省エネに努めた。 ・高騰する電気代や燃料費を支出するため、他の経費の削減に努めた。
前回までの意見の取組み状況	・若い世代の利用を増やすということでは、岐阜大学及びその関係者の利用がかなり増えている。また、利用者が少ない料理教室についても学生が定期利用するようになった。 ・アンケートなどの要望についても、すぐに対応できるものは対応している。
今後の取組み	・支出の大きな割合を占める電気代や重油代が高止まりすると予想されるため、引き続き省エネに努める。 ・諸物価が上昇するなか決められた予算でやり繰りするよう、地道な経費の節減に努める。 ・施設の老朽化及び修繕費の最小化のため、早期の修繕を心がける。

●所管課の意見

今年度上半期は、指定管理者実施の事業として「シニアの男性料理教室」、「親子ふれあい教室」などを実施している。シニア男性料理教室と親子ふれあい教室「ウッドバーニングでミニ額を作ろう」は昨年度も好評であった企画であり、今年度も多くの参加があった。地域住民の学びの機会、ふれあいの機会を創出した。

8月に実施したアンケートの結果、全体的な満足度は81.6%と高く評価されている。経年劣化等により、施設設備への指摘もあるなか、丁寧に対応されている。また、施設管理の面では、利用者のために効果的なLANディスク修繕を実施した。今後も適正な施設管理や接遇意識について期待したい。

運営組織は、地域の自治会連合会をはじめ、各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・今人件費や電気代が上がってきている状況であるが、指定管理開始時点で、5年間の委託料は決まっている。コミセンで働いている方の人件費単価が最低賃金を下回ることはないと思うが、そういったチェックが必要ではないか。
- ・利用料等の収入額によって、指定管理料に変わりはないとのことだが、インセンティブがあれば、少しでも何か変わるのではないか。
- ・若い人の利用が低いのが問題である。若い方の提案、プレゼン大会をやってみるのも一つの手である。
- ・今年も酷暑であったが、コミセンは、地域のクーリングスポットの役割を果たしている。節電して経費を抑える観点も大事だが、人命を大切に、使うべきところは、惜しみなく使っていただきたい。